

自然と歴史

浄土ヶ浦の侵食された海岸では、約 2000 万年前の日本海が湖だったころの地層を見ることができます。言い伝えによると、禅僧の一休が浄土ヶ浦を訪れ、その類まれな景観と透明な水に感銘を受けました。彼はここを浄土と呼びました。浄土とは、浄土教における、西洋で言う天国のことで、それ以降、この海岸地域の名前になりました。岩だらけの海岸、崖、松で覆われた小島や浄土ヶ浦の岩層では、ハヤブサ、ミサゴ、アマツバメなどのさまざまな鳥が見られます。

アクティビティ

浄土ヶ浦の海岸沿いには、海や小島の景色が楽しめる遊歩道がいくつかあります。浄土ヶ浦は十分に守られた海域公園地区であり、シュノーケルやシーカヤックにぴったりのスポットです。また、海岸の近くには、シャワーやトイレがあるキャンプ場があります。